



学校法人聖心女子学院
生涯学習センター 講座



高橋由一「須川にかかる常盤橋」
出典 ColBase(<https://colbase.nich.go.jp/?locale=ja>)

聖心女子大学
キリスト教文化研究所
教養ゼミナール

新しい自分に出会える 全33講座

聖心の 2025 年度 公開講座 ガイドブック



聖心女子大学
グローバル共生研究所
グローバル共生セミナー



講座の申込み

講座の申込み

各講座のお申込みは、下記のホームページからお願いします。生涯学習センターの講座は前期講座のみ掲載しています。後期講座は10月頃に発行するご案内をご参照ください。

※お電話によるお申込みは承っておりません。



生涯学習センター
ホームページ

<https://www.sacred-heart.ac.jp/lc/>



キリスト教文化研究所
ホームページ

<https://sites.google.com/view/ircc-ush/>



グローバル共生研究所
ホームページ

<https://kyosei.u-sacred-heart.ac.jp/>

お問い合わせ先（お問い合わせは、下記のメールアドレスへお願いします。）

学校法人聖心女子学院
生涯学習センター



sgc-hq@sacred-heart.jp

聖心女子大学
キリスト教文化研究所



kiriken@u-sacred-heart.ac.jp

聖心女子大学
グローバル共生研究所



jimu-kyosei@u-sacred-heart.ac.jp

会員制度について

- 年齢、性別、学歴等の制限はなく、どなたでも入会いただけます。
- 受講にはかかわらずしも入会は伴いませんが、会員になられますと以下の特典があります。

- ① 受講料10%割引(キリスト教文化研究所 教養ゼミナールを除く)
- ② 「聖心の公開講座ガイドブック」の定期送付
- ③ 不二農園のお茶の10%割引

(購入される方は、不二農園 <https://www.seishin-fujinouen.jp/> QRコードまで直接お申込みください)※

※学校法人聖心女子学院法人本部事務局での販売は終了いたしました。



不二農園
ホームページ

- 入会金は1,000円(終身会員)です。

学校法人聖心女子学院 生涯学習センター(E-mail: sgc-hq@sacred-heart.jp)までメールでお申込みくださるか、または生涯学習センター講座のWeb受講申込みの際に、入会希望の欄に印を入れてください。

折り返し入会金の振込先口座をお知らせします。

目次

生涯学習センター講座	p.2~5
教養ゼミナール	p.6~11
グローバル共生セミナー	p.12~17

カテゴリーから探す

宗教	● 日常生活と聖書	p.2
	● キリスト教への招きX	p.2
	● 岩下壮一の青春 —留学日記から—	p.8
	● 修道会の教育活動とカトリック教育の今日	p.9
	● 新たな古代 —神教成立史：ラビ・ユダヤ教とキリスト教の分岐—	p.11

語学	● 聖書ヘブライ語中級（講読）	p.10
	● ヘブライ語文法初級（続）	p.10
	● ウクライナ語の世界	p.12
	● アラビア語の世界	p.12
	● ミャンマー語の世界	p.13
	● カンボジア語の世界	p.13
	● にほんご講座「ひろおおしゃべりクラブ」	p.15

共生	● 手話の世界	p.14
	● 地域日本語教室ボランティアのすすめ	p.14
	● 赤十字救急法基礎講習 —心肺蘇生・AED—	p.15
	● 地球規模課題ファシリテーター養成のためのSDGs/ESD for 2030実践講座	p.16
	● 【性の多様性】にじいろコミュニティスペース@聖心女子大学	p.17
	● 知らない楽器をさわり、知らない言葉でうたう —インドネシアの西ジャワのガムラン・ドゥグン ワークショップ	p.17

文学・ 芸術	● 『大和物語』を読む	p.3
	● 禁忌の恋はどう語られたか —藤壺の物語を読む（「須磨」巻③）—	p.3
	● 明治洋画入門 —洋画に求められた表現とその時代背景を探る—	p.5
	● 西洋音楽の源流・グレゴリオ聖歌入門	p.6
	● モテットの歴史	p.7
	● 『源氏物語』『宇治十帖』を読む	p.7
	● 文学と人生	p.8
	● 小説の中の女性たち —明治から大正へ—	p.9
	● 名画を通して学ぶキリスト教美術 —故高階秀爾氏の名著を読む—	p.11
	● キリスト教中世美の世界 —スペイン中世写本挿絵の百花繚乱—	p.11

その他の 教養	● 古墳時代の日韓交流 —金・金銅製装身具と硬玉（ヒスイ）勾玉—	p.4
	● もっと知りたい仏像の魅力	p.4
	● 継承と革新 —日本と世界の100年—	p.6
	● トマス・アクィナスの哲学とその現代的意義	p.10
	● 園芸を通じて世界文化を知る：あなたも食用緑化を始めませんか？	p.16

宗教講座 日常生活と聖書



聖書学の勉強ではなく、講座名の通り、3人の担当者が、日常生活の中でふと気づいたこと、励まされたこと、安心したことなど主観的に伝える気軽な講座です。参加の皆様のご自由な反応や、ご意見もお互いの理解を広げます。正解というのはなく、また発言しない自由も十分あります。

聖書の使用箇所は担当者がそのころの日常生活から考えて決めてお知らせしますが、聖書は用意してありますので、お持ちでなくても大丈夫です。内容に継続性はないので、どの段階での参加も可能です。

日 程 水曜日 10:30~11:30
 2025年：5/14、6/11、7/16、10/15、
 11/19、12/17
 2026年：1/14、2/18、3/11

会 場 聖心女子大学4号館2階 聖心コモンズルーム

開講方式 対面式

講 師 シスター 岩井 慶子(聖心会)

対 象 制限なし

受講料 9,000円

定 員 15名程度



宗教講座 キリスト教への招きX



世界の多くの宗教には固有の祈りや祈り方があります。第10期となる2025年度は、キリスト教の祈りについてさまざまな側面から学びます。前半は聖書における祈りを取り上げます。その中心は、イエス自身の祈りとイエスが弟子たちに教えた「主の祈り」です。後半は、教会の歴史の中で唱えられてきた祈りを取り上げ、マリアへの祈りやミサやさまざまな典礼で用いられてきた祈りを紹介します。

この講座では、カトリック教会の立場から、信者ではない方にもできるだけ分かりやすくお話しいたします。これまでの講座を受講していない方も歓迎します。

日 程

土曜日 14:00~15:30

- ①5/17 キリスト教の祈り
- ②6/14 旧約聖書の祈り
- ③7/19 イエス・キリストの祈り(1)
- ④9/20 イエス・キリストの祈り(2)
- ⑤10/4 イエス・キリストの祈り(3)
- ⑥10/25 新約聖書と初代教会の祈り
- ⑦11/15 マリアと聖人への祈り
- ⑧1/17 教会の祈り(1)
- ⑨2/21 教会の祈り(2)
- ⑩3/14 教会の祈り(3)

(講師の都合により日程が変更になる場合があります)

会 場 聖心女子大学4号館2階 聖心コモンズルーム

開講方式 対面式

講 師 宮越 俊光(カトリック中央協議会)

対 象 制限なし

受講料 10,000円

定 員 15名程度



文学講座 『大和物語』を読む



対面式

『大和物語』は、『伊勢物語』と並び称される歌物語の一つであり、平安時代の貴族社会で語られていた恋愛譚や古伝説などを紹介する作品です。我々は、これを読むことによって、平安貴族の興味が何に注がれていたか、また彼らの築いた文化がどのようなものであったかを、如実に知ることができます。ただし、この作品は有名である割に注釈書が少なく、内容が十分には理解できていないのが現状です。

この講座では、その各章段を丁寧に読み解きながら、表現の真意を突き止め、文章の魅力を楽しみたいと思います。

日 程

- 金曜日 10:30~12:00
- ①4/25 『大和物語』を読むために(第九一段「扇の香」)
 - ②5/9 第三五段「大内山」~第三七段「花咲く春」
 - ③5/23 第三八段「消え行く帆」・第三九段「朝顔の露」・第四八段「空行く春日」
 - ④6/6 第四九段「宿の菊」~第五一段「花の色」
 - ⑤6/20 第五二段「深き心」~第五四段「帰らぬ旅」
 - ⑥7/4 第一〇六段「荻の葉」(上)
 - ⑦7/18 第一〇六段「荻の葉」(下)
 - ⑧8/1 第一二〇段「梅の花」・第一二一段「笛竹」
 - ⑨9/5 第一五三段「藤袴」・第一五四段「ゆふつけ鳥」
 - ⑩9/19 第一五五段「山の井の水」

会 場 聖心女子大学4号館2階
聖心コモンズルーム

開講方式 対面式

講 師 山口 佳紀(聖心女子大学 名誉教授)

対 象 制限なし

受講料 15,000円

定 員 15名程度

文学講座 禁忌の恋はどう語られたか



オンライン

— 藤壺の物語を読む(「須磨」巻③) —

光源氏とたった五歳しか変わらない継母・藤壺の存在は、光源氏の人生を、あるいは『源氏物語』の正編全体を貫く重要な軸です。

しかしながら、戦前谷崎潤一郎訳『源氏物語』において藤壺の登場箇所が削除されたことが象徴するように、皇統乱脈を描く光源氏と藤壺との恋は時代の流れの中で忌避されることもありました。果たして物語はどのように禁忌の恋を語っているのでしょうか。

本年度も引き続き、光源氏の須磨における蟄居の日々を読んでいきます。

講座の中では従来通り、貴族たちの生活世界をイメージしていただけるように画像資料を用います。受講者の皆様が平安朝の世界を心の中に思い描きながら原文を味わってくださるよう努めます。また、途中回からのご参加や講座内容に関するご質問も大歓迎いたします。オンライン講座ですが、双方向のやりとりとなるよう工夫したいと思います。

日 程

- 火曜日 13:00~14:30
- ①9/30 昨年度までの振り返り、ご質問への回答
 - ②10/7 供人や大宰大弐との交流
 - ③10/14 右大臣政権下の京の動静
 - ④10/21 光源氏の嘆き深し
 - ⑤10/28 明石の入道、娘を光源氏と縁づけることを思案

会 場 オンライン式(Zoom)

開講方式 オンライン式(Zoom)

講 師 大津 直子(同志社女子大学 准教授)

対 象 制限なし

受講料 7,500円

定 員 15名程度

*本講座は今年度をもって暫くの間、休講となります。ご了承のほど、よろしくお願いいたします。

教養講座 古墳時代の日韓交流 —金・金銅製装身具と硬玉(ヒスイ)勾玉—



対面式

古墳時代中期(5世紀)～後期(6世紀)は、「獲加多支鹵(ワカタケル)大王[雄略天王]」の銘文を持つ鉄剣・刀が出土した埼玉県稲荷山古墳や熊本県江田船山古墳のように、倭ではヤマト政権が東国や九州を勢力下に治め始めていった。その背景には、百済・新羅・加耶に分立していた朝鮮半島との交流で鉄資源や金・金銅装身具を入手していたことがあげられる。この頃、新羅や加耶では半島で産出しない硬玉の勾玉が多数出土し双方向の交流も見てとれる。6世紀になると、半島の影響を受けた金・金銅装身具の分布からヤマト政権の地方支配をみることができる。

考古資料による交流史の観点から日本の古代国家の成立を考えてみよう。

日 程 木曜日 13:00～14:30
5/22、6/5

会 場 聖心女子大学4号館2階 聖心コモンズルーム

開講方式 対面式

講 師 早乙女 雅博(東京大学 名誉教授)

対 象 制限なし

受講料 3,000円

定 員 15名程度



江田船山古墳出土 金銅製冠帽(東京国立博物館蔵) 出典:ColBase(<https://colbase.nich.go.jp/?locale=ja>)

教養講座 もっと知りたい仏像の魅力



対面式

今秋、東京国立博物館で「運慶 祈りの空間—興福寺北円堂」展(9月9日～11月30日)が開催されます。運慶晩年の最も重要な作品で、運慶の集大成ともいえる奈良興福寺北円堂の本尊・弥勒菩薩像が東京での初お披露目となり、北円堂安置諸像が再現的に展示されます。

そこで本講座では、運慶展2025の予習を兼ねて鎌倉時代の仏像について取り上げます。第一回目は、運慶登場の前史から説き起こし、平家による東大寺や興福寺の南都焼き討ちからの復興造像の様相を紐解きます。第二回目は、運慶工房総力を挙げての北円堂の造像についてじっくり見てみることにします。古参の仏師、運慶の六人の子供たちも造像に携わっており、運慶工房の様相を知ることのできる貴重な作例でもあります。

講座を通して仏像の魅力を味わっていただけたら幸いです。

日 程 火曜日 13:00～14:30
7/8、7/15

会 場 聖心女子大学4号館2階 聖心コモンズルーム

開講方式 対面式

講 師 皿井 舞(学習院大学 教授・博士(文学))

対 象 制限なし

受講料 3,000円

定 員 15名程度



特別展「運慶 祈りの空間—興福寺北円堂」

教養講座

明治洋画入門 —洋画に求められた表現とその時代背景を探る—



対面式

日本で本格的な洋画学習が始まったのは、欧米の船が日本近海に到来し、洋学への関心も高まった幕末でした。その学習は、外来の書物や文物を介して学ぶ段階から、来日した西洋人に学ぶ段階を経て、日本の画学生が西洋に留学して現地の画学生と共に学ぶ段階へと展開しました。

「高橋由一と明治初期の洋画」では、その第一段階にあたる画家、高橋由一の作品やことばを中心に、江戸から明治に移り変わる社会の中での洋画を、「浅井忠と明治美術会の洋画」では、由一の時代を経た、第二段階、明治政府が初めての西洋美術の教育機関として明治9年に設立した工部美術学校での教育、同校に学んだ浅井忠ほかの画学生たちの作品を中心にご紹介します。彼らが洋画学習に向かった理由、また、洋画に求めたものを探っていきます。

日 程 木曜日13:00~14:30

①5/15 高橋由一と
明治初期の洋画

②5/29 浅井忠と
明治美術会の洋画

会 場 聖心女子大学4号館2階
聖心コモンズルーム

開講方式 対面式

講 師 山梨 絵美子(千葉市美術館長)

対 象 制限なし

受講料 3,000円

定 員 15名程度



①高橋由一「豆腐」金刀比羅宮 出典:高橋由一館(https://www.konpira.or.jp/articles/20200710_takahashi-yuichi/article.htm)
②浅井忠「春歎」東京国立博物館 出典:ColBase(<https://colbase.nich.go.jp/?locale=ja>)

S2501 西洋音楽の源流・グレゴリオ聖歌入門



対面式

キリスト教はその始まりから音楽が大きな役割を持っていました。それを受け止めていたのがグレゴリオ聖歌です。その成り立ちから変遷、8世紀から11世紀ころまでの最盛期、その後の経緯など、歴史をお話しします。そして西洋音楽のベースとしての存在、その後の展開を、Filles du Sacre Coeur の実演を交えてお聞きいただきます。第2バチカン公会議においてグレゴリオ聖歌は典礼行為において首位を占める物であると書かれながらその魅力、影響力が軽視される風潮を残念に思い、お話しできる機会を楽しみにしています。

日 程	土曜 14:00~15:40 前期2回:5/31、7/5
会 場	聖心女子大学 聖堂
開講方式	対面式
講 師	渡辺 宏子(日本グレゴリオ聖歌学会理事・日本合唱指揮者協会会員)
対 象	制限なし
受講料	4,000円
定 員	50名程度
使用テキスト	授業時にレジメを配布



TL2502 継承と革新—日本と世界の100年—



録画配信

2021年に初めて開講されたトーチライトセミナーは、本学出身の若手研究者を講師に迎え、受講者の皆様に聖心から始まった学問研究の実りに触れていただくものです。

今年は今からちょうど100年前の1925年に焦点を合わせました。1925年は聖マグダレナ・ソフィア・バラが列聖された年であり、カトリック教会は今年と同じく盛年を祝っていました。日本は大正時代の終り、治安維持法が施行され、ラジオ放送が始まりました。世界は二つの世界大戦の間の「戦間期」と後に呼ばれる時代であり、この年のはじめにはイタリアでムッソリーニが独裁を宣言し、ドイツでもナチス党が再建されました。古い時代の終焉が予感され、新しい世界が手探りされていた「時(カイロス)」を共にしたことから、どのような「同時性」が見出されるか、ご一緒にお考えいただければ幸いです。

日 程	金曜配信 通年4回：検討中	対 象	制限なし
会 場	専用ホームページ	受講料	4,000円
開講方式	録画配信	定 員	制限なし
講 師	浪波 利奈(美学) 民藝100年—造語「民藝」の誕生をめぐって— 山内 由賀(西洋史) 聖マグダレナ・ソフィア・バラ列聖100年—21世紀初頭における聖心女子学院の発展— 押見 まり(哲学) フランス近現代思想100年の歩み—ドゥルーズ生誕100年によせて— 服部 紀子(国語学) 100年前の国語政策と日本語研究	使用テキスト	未定



A2503 モテットの歴史



対面式

まずモテットが13世紀パリのノートルダム大聖堂で歌われていたオルガヌムから派生して成立した過程を辿る。その後モテットが中世、ルネサンス、バロックを経てどのように変化して現代に至ったかを、代表的な実例を取り上げながら分析する。

日 程 火曜13:30~15:10
 通年6回：5/20、6/17、7/15、10/21、
 11/18、12/16

会 場 聖心女子大学 1号館

開講方式 対面式

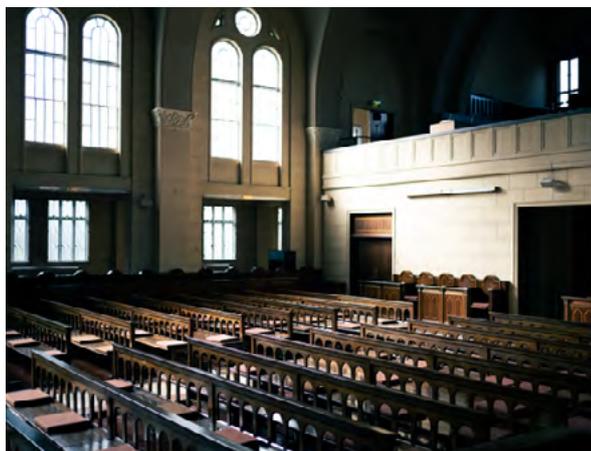
講 師 金澤 正剛(国際基督教大学名誉教授)

対 象 制限なし

受講料 6,000円

定 員 15名程度

使用テキスト 毎回必要な資料のコピーを配布する



A2504 『源氏物語』『宇治十帖』を読む



対面式

「橋姫」より読み始め、「手習」中盤を過ぎ、浮舟出家へと読み進んだ「宇治十帖」(光源氏子孫世代の物語)も、続く「夢浮橋」で終わりを迎えます。「夢浮橋」は、『源氏物語』の最終巻です。今年度は、「手習」後半から「夢浮橋」へ、物語の終焉へと向かう中で、浮舟の生の意味、そして仏道、救済の命題の行方等の課題に取り組むことになります。出家を遂げた浮舟に、横川の僧都は、還俗を勧めたのかどうか、大きな見解の揺れも残るところですが、最終局面に向かって、各回にトピックを用意し、共に考えながら読みときます。

日 程 火曜 15:20~17:00
 通年12回：4/22、5/13、5/27、6/10、6/24、7/1、
 10/7、10/21、11/4、11/18、12/2、12/16

会 場 聖心女子大学 1号館

開講方式 対面式

講 師 原岡 文子(聖心女子大学名誉教授)

対 象 制限なし

受講料 12,000円 **定 員** 15名程度

使用テキスト 玉上琢彌 訳注『源氏物語』第十巻(浮舟から夢浮橋)角川ソフィア文庫(昨年度使用テキストと同じ。今年度よりご参加の方は、開始前にご購入ください)



A2505 岩下壮一の青春 —留学日記から—



対面式

大正時代から戦前まで日本のカトリック教会を代表する人物であり、司祭、哲学者、教育者、社会事業家、出版事業家として多大な業績を成し遂げた岩下壮一（1889-1940）は、1919年に哲学研究のために欧州に留学し、1925年に司祭として帰国します。岩下壮一の叙階（1925年6月6日）から100周年にあたり、留学時代の日記を元に、若き岩下の生涯についてご紹介します。

なお、本年5月から12月（予定）には、本学で岩下壮一の特別展「岩下壮一という多面体～20世紀のフランシスコ・ザビエル～」の開催も予定されていますので、合わせてご覧いただければ幸いです。

日 程 木曜 10:50~12:30
通年4回：5/22、7/24、10/23、12/18

会 場 聖心女子大学 1号館

開講方式 対面式

講 師 加藤 和哉（聖心女子大学哲学科教授）

対 象 制限なし

受講料 4,000円

定 員 15名程度

使用テキスト 特にありません。資料等は授業で配布します。



A2506 文学と人生



対面式

文学に凝結している人間の知恵を学び、それを私たちの日常にいかにか活かすべきかを、キリスト教精神に基づいて、皆と一緒に考えていきたいと思えます。

日 程 木曜 10:50~12:30
通年6回：5/15、6/19、7/17、10/16、11/20、12/18

会 場 聖心女子大学 4号館 3階 ブリット記念ホール

開講方式 対面式

講 師 鈴木 秀子（元聖心女子大学教授）

対 象 制限なし

受講料 6,000円

定 員 50名程度

使用テキスト 毎回配布資料を用意します。



A2507 小説の中の女性たち —明治から大正へ—



対面式

日本近代文学の小説において、女性たちはどのように描かれてきたのでしょうか。明治の急速な近代化の波に洗われ、旧弊な女性観や家意識と新しい時代の価値観とのせめぎ合いの中で、女性たちは苛酷な生を生きざるを得ませんでした。登場人物たちの姿は時代の相を映しながら、現代を生きる私たちとどこかで繋がっているかもしれません。明治から大正へ時代を追って、作品を丁寧に読み解いていきます。

第一回 樋口一葉「われから」—— 一葉・最後の小説	第四回 森鷗外「半日」—— 嫁と姑と
第二回 徳富蘆花「不如帰」—— 婦女子の紅涙を絞る	第五回 有島武郎「或る女」—— 新しい女の生きづらさ
第三回 伊藤左千夫「野菊の墓」—— 農村の恋	第六回 芥川龍之介「秋」—— 結婚の悲哀

日 程 木曜 13:30~15:10
 通年6回：5/8、6/12、7/10、10/9、11/13、12/11

会 場 聖心女子大学 1号館

開講方式 対面式

講 師 松野 志保(聖心女子大学非常勤講師・日本文学研究者)

対 象 制限なし

受講料 6,000円

定 員 15名程度

使用テキスト その都度資料を配布します(各作品は書籍のほか、「青空文庫」でも無料でお読みいただけます)



A2508 修道会の教育活動とカトリック教育の今日



対面式

- ① 教育史において修道会が有してきた意義を確認する。
- ② 特に近代以降の修道会がカトリック的な学校教育の成立に与えてきた方向性を、イエズス会、聖心会の活動を中心に明らかにする。
- ③ ①②で明らかになった視点が、改めて現代の世界および日本におけるカトリック学校教育に対して有する意義を明らかにする。

日 程 木曜 15:20~17:00
 前期6回：5/8、5/22、6/5、6/19、7/3、7/17

会 場 聖心女子大学 1号館

開講方式 対面式

講 師 桑原 直己(筑波大学名誉教授)

対 象 制限なし

受講料 6,000円

定 員 15名程度

使用テキスト 特になし



A2509 トマス・アクィナスの哲学とその現代的意義



対面式

- ① トマス・アクィナスの背景となった中世の知的世界について見通しを与える。
- ② トマス・アクィナスの哲学を概観する。
- ③ トマス・アクィナスの哲学が、現代において有する意義を改めて明らかにする。



日 程	木曜 15:20~17:00 後期6回：10/2、10/16、10/30、11/13、11/27、12/11	受講料	制限なし
会 場	聖心女子大学 1号館	定 員	6,000円
開講方式	対面式	使用テキスト	15名程度
講 師	桑原 直己(筑波大学名誉教授)		
対 象	制限なし		

B2510 聖書ヘブライ語 中級(講読)



オンライン

継続中の聖書ヘブライ語の中級のクラスです。中級は士師記8章以降を継続して原文で読みます。前年度受講してなくても自習して途中参加していただいて構いません。



日 程	木曜 13:30~15:10 前期10回：5/8、5/15、5/22、5/29、6/12、6/19、6/26、7/3、7/10、7/17	使用テキスト	中級:Biblia Hebraica Stuttgartensia、または Biblia Hebraica Quarta分冊の"JUDICES"辞書等はクラスで提示します。
会 場	オンライン同時配信		
開講方式	オンライン同時配信		
講 師	荒川 博行(カトリック東京大司教区司祭)		
対 象	制限なし	受講料	10,000円
定 員	制限なし		※ゼミ開始前に、使用テキストを購入する必要がある場合、その旨をお知らせください。

B2511 ヘブライ語 文法初級(続)



オンライン

山田恵子『ニューエクスプレス+古典ヘブライ語』L.14(p.90)から続けて文法を学びます。前年度受講してなくても自習して途中参加していただいて構いません。



日 程	木曜 15:20~17:00 前期10回：5/8、5/15、5/22、5/29、6/12、6/19、6/26、7/3、7/10、7/17	使用テキスト	山田恵子『ニューエクスプレス+古典ヘブライ語』白水社、2019。辞書等はクラスで提示します。
会 場	オンライン同時配信		
開講方式	オンライン同時配信		
講 師	荒川 博行(カトリック東京大司教区司祭)		
対 象	制限なし	受講料	10,000円
定 員	制限なし		※ゼミ開始前に、使用テキストを購入する必要がある場合、その旨をお知らせください。

C2512 名画を通して学ぶキリスト教美術—故高階秀爾氏の名著を読む—



録画配信

2000年近い歴史をもつキリスト教の教えが、いわゆる「名画」の中にどのようにちりばめられているのか。必ずしもキリスト教美術の枠内に収まらない世界的名画の世界に、中世美術の視点から大胆に分け入ってみよう。教科書として用いるのは、2024年10月に92歳で逝去された高階秀爾先生の著書『名画を見る眼』のカラー新装版である。50年以上も人々に読み継がれてきた名著を読みながら、キリスト教美術の意外な広がりに出会うに相違ない。取り上げる名画は、ファン・アイク、レオナルド、ラファエルロ、ブーサン、フェルメールなど。加えてイギリスやフランスの聖堂建築、ステンドグラス、写本画、エマーユ工芸など「中世の名作」にも話題を広げてゆく。(同時期に開催されている展覧会案内も併せて行います)



日 程 水曜配信 通年8回：4/23、5/21、6/18、7/16、10/8、11/19、12/17、1/14

会 場 専用ホームページ **開講方式** 録画配信 **講 師** 高野 禎子(清泉女子大学名誉教授)

対 象 制限なし **受講料** 8,000円 **定 員** 制限なし

使用テキスト 高階秀爾『カラー版 名画を見る眼I—油彩画誕生からマネまで—』岩波新書、2024年、1,240円
※使用テキストは各自ご購入下さい。第一回目の授業から使用します。

参考資料 浅野和生『ヨーロッパの中世美術』中公新書、2014年、柳宗玄『キリスト 美術にみる生涯』八坂書房、2012年

C2513 キリスト教中世美の世界—スペイン中世写本挿絵の百花繚乱—



録画配信

イベリア半島スペインでは、10世紀から13世紀にかけて、とりわけ北部各地の修道院でキリスト教写本が盛んに制作され、そこに描き込まれた挿絵美術が開花し、さまざまに受け継がれ展開されてゆきました。この講座では、現場となった修道院の歴史的環境、写本制作にあたった修道士たち(技術を身に着けた写生字や挿絵師)の敬虔な真情などにも触れながら、その創造性に富む挿絵の「祈りの美」について解説します。



日 程 金曜配信 前期3回：5/23、6/20、7/25

会 場 専用ホームページ **対 象** 制限なし **定 員** 制限なし

講 師 安發 和彰(美術史家) **開講方式** 録画配信 **使用テキスト** とくにありません。毎回パワーポイントを使用します。適宜資料を配付します。

受講料 3,000円 **対 象** 制限なし

C2514 新たな古代 — 一神教成立史:ラビ・ユダヤ教とキリスト教の分岐—



録画配信

古代地中海世界を舞台に、一神教は周囲の人々にどのようなインパクトを与えたのか。この視点に立ってみると、古代ローマ宗教史やイスラム教成立史の研究結果が気になってくる。それらを見ると、ある共通理解があることがわかる。一神教と見なされているのは、ユダヤ・キリスト教なのだ。周囲の人たちには、この二つの共同体は違っているというより、とても似ていて見分けがつかない。しかし、一神教徒の側では、二つの勢力が異邦人キリスト教とラビ・ユダヤ教という形で、互いを意識しつつ自己認識を明確にしていっていったことが見えてくる。ではどういう歴史が見えてくるだろうか。



日 程 金曜配信 通年12回：5/16、5/30、6/13、6/27、7/11、7/25、10/3、10/17、10/31、11/14、11/28、12/12

会 場 専用ホームページ **対 象** 制限なし **使用テキスト** 毎回、レジュメを準備する

開講方式 録画配信 **受講料** 12,000円

講 師 市川 裕(東京大学名誉教授) **定 員** 制限なし

ウクライナ語の世界



世界的な小麦の生産地、農業大国であるウクライナ。独立国家としてはまだ若い一方、文化的ルーツは約千年前の東スラブの中心地であったキーウ大公国の時代に遡ります。歴史的な文化遺産、美しい民族衣装、さらにボルシチなどのおいしい料理等、ウクライナの多様な魅力に触れながら、ウクライナ語で簡単な会話や挨拶を交わしてみませんか？

- 日 程** 火曜・金曜 19:00~21:00
4回:8/19、8/22、8/26、8/29
- 会 場** オンライン式 (ZOOM)
- 開講方式** オンライン式 (ZOOM)
- 講 師** 小川 暁道 (東京外国語大学 非常勤講師他)
- 対 象** 高校生以上
- 受講料** 一般6,000円、聖心女子大学協会の会員5,000円、
大学生4,000円
※高校生/聖心女子大学生は無料
- 定 員** 15名



アラビア語の世界



日本から遠いアラブ社会は、豊かな文化の香りが漂っています。アラビア半島から西アフリカまで、広く公用語として使われているアラビア語の魅力を味わいながら、アラブの国々の多様な文化、習慣、伝統などを楽しく学びませんか。

講座にはシリア出身の本学大学院生が加わり、体験談を交えながらアラビア語の世界について紹介します。

- 日 程** 8~9月頃 (全4回)
- 会 場** オンライン式 (ZOOM)
- 開講方式** オンライン式 (ZOOM)
- 講 師** RAWYA JAMOUS (慶応義塾大学 非常勤講師他)
(講師補助) シリア出身大学院生 (聖心女子大学)
- 対 象** 高校生以上
- 受講料** 一般6,000円、聖心女子大学協会の会員5,000円、
大学生4,000円
※高校生/聖心女子大学生は無料
- 定 員** 15名



ミャンマー語の世界



135もの少数民族が暮らす、仏教国ミャンマー(ビルマ)。その公用語であるミャンマー語は日本語と文法が似ていて馴染みやすい言語です。そんなミャンマーのことばと文化に触れてみませんか。

ミャンマー語の挨拶表現や基本的な文法とともに、ミャンマーの文化や習慣などを学びます。講座にはミャンマー出身の本学大学院生が加わり、体験談を交えながらミャンマーについて紹介します。

日 程	2026年2~3月頃(全4回)
会 場	オンライン式(ZOOM)
開講方式	オンライン式(ZOOM)
講 師	清水 美里(関西外国語大学特任講師) (講師補助)ミャンマー出身大学院生(聖心女子大学)
対 象	高校生以上
受講料	一般6,000円、聖心女子大学協力会会員5,000円、 大学生4,000円 ※高校生/聖心女子大学生は無料
定 員	15名



カンボジア語の世界



アンコールワットをはじめとする遺跡で知られ、観光で人気のカンボジア。そこに暮らす人々が使うカンボジア語は、文法がとてもシンプルです。動詞の活用などがないので、いくつかの規則に従って単語を並べていくと簡単な会話ができるようになります。講座では挨拶や基本の会話を学びながら、カンボジアを身近に感じられるように日常の習慣、家庭料理、生活の中にある芸能、そして遺跡についても紹介します。

日 程	2026年2~3月頃(全4回)
会 場	オンライン式(ZOOM)
開講方式	オンライン式(ZOOM)
講 師	福富 友子(上智大学・慶応義塾大学 非常勤講師)
対 象	高校生以上
受講料	一般6,000円、聖心女子大学協力会会員5,000円、 大学生4,000円 ※高校生/聖心女子大学生は無料
定 員	15名



手話の世界



講師の豊富な手話体験をうかがいながら手話の世界について学び、受講者一人ひとりが教わったばかりの手話を使って語り合う和やかな手話講座です。小学生以上対象（小学生は保護者の付き添いが必要になる場合もございます）。

日 程	8月～9月頃
会 場	聖心女子大学4号館
開講方式	対面式
講 師	田口 雅子 (渋谷区登録手話通訳者)
対 象	小学生以上
受 講 料	一般3,000円、聖心女子大学協力会会員2,000円、 大学生以下1,000円
定 員	15名



高校生・大学生対象

地域日本語教室ボランティアのすすめ



日本語ボランティアに興味はありませんか？現在日本に住んでいる多くの外国人は、地域日本語教室で日本語を勉強しています。教室は全国にあり（東京都だけでも250カ所以上）、ボランティアは絶賛募集中です。

本講座では、日本語ボランティアの始め方や日本語教育の面白さをお伝えします。ぜひお気軽にご参加ください。

日 程	8月21日(木) 14:30～16:00
会 場	オンライン式(ZOOM)
開講方式	オンライン式(ZOOM)
講 師	岩田 一成 (聖心女子大学日本語日本文学科教授)
対 象	高校生、大学生
受 講 料	無料
定 員	30名程度



Japanese
Conversation Classes

にほんご講座「ひろおおしゃべりクラブ」



対面式

近隣にお住まいの外国人の方々を対象とした「にほんご講座」です。月曜日、木曜日の午前クラスはテキストをもとに会話表現を学びます。月曜日午後クラスは自由な会話練習クラスです。全てのクラスに日本語講師と、大学生ボランティアが参加します。

日 程 春：4月21日(月)～6月30日(月)
①10:50～12:20、②13:30～15:10
4月24日(木)～7月3日(木)
③10:50～12:20
祝日を除く各10回
秋：9月末～2026年1月上旬

会 場 聖心女子大学4号館

開講方式 対面式

対 象 ・日本在住外国人(日本語を20時間程度勉強した人)
・ひらがな、カタカナ、ローマ字で日本語を読める人
・簡単な日本語でお話できる人

受講料 ①、③は各7,000円(10回) ②は無料

定 員 各クラス30名程度



赤十字救急法基礎講習 一心肺蘇生・AED



対面式

私たちの行動で、救える命があります。いざという時のために、誰でもできる一次救命措置(心肺蘇生、AEDの使用法、気道異物除去など)を学びましょう。講習終了時の検定試験に合格した方には赤十字ベーシックライフサポーター認定証が交付されます。

日 程 6月21日(土) 13:00～18:00

会 場 聖心女子大学4号館

開講方式 対面式

対 象 高校生以上

受講料 (教材費等) 1,500円
※高校生/聖心女子大学生は無料

定 員 25名程度



地球規模課題

ファシリテーター養成のための

SDGs/ESD for 2030実践講座

対面式
オンライン

本講座は、気候変動など地球規模課題の解決に向けて体験的に学ぶ手法、PBLのデザイン、学習者への問いの作り方、さらに近年のSDGsで重視されている自己変容と社会変容に関する理論などを学び、チームでプログラムを考え、自分たちで設計したプログラムをDay3に聖心女子大学の教室で対面で実践する、4日間の実践型連続講座です。

日程	10~11月頃
会場	Day1,2,4:オンライン Day3:聖心女子大学4号館
開講方式	オンライン式/対面式
講師	コーディネーター:井澤 友郭 (こども国連環境会議推進協会事務局長)
対象	大学生以上
受講料	一般10,000円、聖心女子大学協会の会員8,000円、 大学生4,000円 聖心女子大学生は1,000円
定員	40名程度



園芸を通じて
世界文化を知る

あなたも食用緑化を始めませんか？

対面式

1回目は、ネパールの1)ヒマラヤ地帯、2)山間地帯と3)平野地帯に暮らすいろいろな民族の人々がどのように植物を食材や薬品として利用しているのかについて学びます。昔から伝わってきた「人と植物との係わり」について民族植物学的な視点から学びます。2回目は、ネパールの都市部で広がっている屋上菜園の重要性について学び、最後には教室からオンラインで屋上菜園を運動として広げているネパールの方々との繋がり、日本語で通訳しながら質疑応答の時間も設ける予定です。この講座では、植物や園芸に興味がある方、ネパールの民族植物学について興味がある方、都市部の食用緑化に興味がある方を広く募集します。講座を受講してくださった方に、自分でも植物を育ててみようかな、もっと植物の力を活用した何かをはじめようかなという気になっていただけましたら幸いです。

なお、各回ともに大学内にある菜園スペースでの播種(はしゅ/たなまき)等の実技指導をあわせて行う予定です。種や必要となる道具類は大学で用意いたします。

日程	①10月4日(土) 10:00~12:00、13:00~15:00 ②10月11日(土) 10:00~12:00、13:00~15:00
会場	聖心女子大学4号館
開講方式	対面式
講師	トゥラダール・アスタ(聖心女子大学非常勤講師/グローバル共生研究所客員研究員)
対象	小学生以上
受講料	一般3,000円、聖心女子大学協会の会員2,000円、大学生以下1,000円
定員	20名



性の多様性 にじいろコミュニティスペース@聖心女子大学



対面式

ジェンダー平等・性の多様性をテーマにしたセミナーです。ミニレクチャーを通してジェンダー課題や性的多様性への理解を促進し、ワークショップや交流会を通して当事者同士・当事者とアライ（理解・支援する人）・アライ同士の親交を広げ・深めます。それにより、性のありようにかかわらず安心して過ごせるキャンパスづくりを進め、〈ともに・豊かに生きる〉ことを身のまわりから創り出していきます。

日 程 第1回にじいろ読書カフェ：6月28日(土) 14:00～(100分程度)

年間3～4回。その他の予定は決まり次第
グローバル共生研究所ホームページで
お知らせします。

会 場 聖心女子大学4号館

開講方式 対面式

講 師 渋谷インクルーシブシティセンター
〈アイリス〉ほか

対 象 大学生、大学教職員、本学卒業生、
高校生、本学関係者

受講料 無料

定 員 各回20名



音楽と共生 知らない楽器をさわり、知らない言葉でうたう



対面式

ーインドネシア西ジャワのガムラン・ドゥグン ワークショップー

ほかの国の言語を学ぶことはあっても、ほかの国の言葉でうたうということは、人生のなかで案外ないのではないのでしょうか。インドネシアは数百を超える地方語をもつ多言語国家です。たくさんある言語のなかにジャワ島西部周辺で用いられてきたスンダ語があります。スンダ語の歌を歌ってきた村上圭子さんをお招きし、西ジャワのガムランのワークショップとともに、参加者のみなさんと知らない言葉で歌をうたうという体験をしたいと思います。うたわなくても、聞いてくださるだけでも大歓迎です。

日 程 5月15日(木) 18:30～19:30

会 場 聖心女子大学宮代ホール

開講方式 対面式

講 師 出演:バラグナ・グループ
解説:村上圭子(歌手)、
森重行敏(洗足学園音楽大学客員教授)
司会:佐藤紀子(聖心女子大学哲学科講師)

対 象 制限なし ※ワークショップ参加は10歳以上

受講料 無料

定 員 50名程度



生涯学習センター

<https://www.sacred-heart.ac.jp/llc/>

〒150-0012 東京都渋谷区広尾4-3-1(聖心女子大学キャンパス内)

e-mail : sgc-hq@sacred-heart.jp



ホームページ

生涯学習センター 講座の申込みについて

各講座のお申込みは、講座開始12日前、または定員に達し次第、締め切りとさせていただきます。
お申込みは当センターホームページの「講座一覧・お申込み」よりお申込みください。
また、「学校法人聖心女子学院」で検索し、トップページ→「生涯学習センター」にお進みください。
生涯学習センターの講座は前期講座のみ掲載しています。後期講座は10月頃に発行するご案内をご参照ください。
※お電話によるお申込みは承っておりません。



<https://sites.google.com/view/ircc-ush/>

〒150-8938 東京都渋谷区広尾4-3-1

e-mail : kiriken@u-sacred-heart.ac.jp

教養ゼミナールのお申込みは
キリスト教文化研究所ホームページからお願いします。



ホームページ

聖心女子大学 グローバル共生研究所

Sacred Heart Institute for Sustainable Futures (SHISF)

<https://kyosei.u-sacred-heart.ac.jp/>

150-8938 東京都渋谷区広尾4-2-24

聖心女子大学4号館／聖心グローバルプラザ

e-mail : jimu-kyosei@u-sacred-heart.ac.jp



ホームページ



facebook



Instagram

グローバル共生セミナーのお申込みは
グローバル共生研究所ホームページからお願いします。
(各セミナー開始1~2ヶ月前を目途に受付を開始いたします。)

